

60号記念院長インタビュー②

お待たせいたしました。前回の院長インタビューの続きです。

Q 休日はどのようにして過ごされていますか？


A 家族と西宮や神戸に出かけたり、研修に参加します。3月に六甲山スキー場に行きましたが、妻と子供はスキーをし、私はレストランからながめていました。

Q 好きなテレビ番組や芸能人は？

A ほとんど見ませんが、イチロー選手、金本選手、渡哲也さんのファンです。

Q 好きな食べ物は？

A 和・洋・中華何でも好きです。

Q ふれあい新聞が10周年を迎えた感想とこれからの抱負を！ 

夢中になれるもの



HANSHIN Tigers

「関西人には阪神ファンが多い」というのはいうまでもない事実です。私はそんな関西に生まれながらあまり興味がなかったのですが、数年前初めて甲子園球場に行く機会がありました。言われるがままついて行くと球場に入ってビックリ、5万人が一斉に上げる歓声、地鳴りのように鳴り響くメガホンの音、色とりどりの場外にまで飛んでいく風船、すべてが初めてで感動と興奮を覚えました。残念ながらその試合は負けてしまったのですが…。甲子園名物のカレー、ラーメン、焼き鳥も食べる事が好きな私にとってはすごく嬉しかったです。

あれから数年、今では阪神タイガースのファンになり今年2月には高知県までキャンプを観に行くほどになりました。まだ甲子園に行った事のない方はだまされたと思ってリニューアルした甲子園に一度行ってみたいかかでしょうか。きっとあなたも甲子園、阪神タイガースのとりこになることまちがいないでしょう。

追伸:巨人ファンの皆様ごめんなさいね♡ (医療事務 安富香衣)

A 「曾山医院開院17周年、ふれあい新聞発行10周年、ここまで続けられたのはやはり患者様と編集にかかわった当院スタッフのおかげです」



「近隣、地域のご家庭や職場の皆様、高齢者の皆様の健康(医療と介護)に役立つ院内新聞として末長く続けます。また、関連病院や施設にも引き続きお配りしていきます」

ありがとうございました。

院長を身近に感じて頂けましたでしょうか・・・

漢方入門 其の三十七

「体質改善と漢方」



アレルギー性の慢性疾患で悩む人が増えており、花粉症やアトピー性皮膚炎など、日本人の約30%がなんらかのアレルギー性疾患をかかえていると言われています。ライフスタイルの変化や住環境など環境の急速な変化がその原因だとみられているのです。長期の治療が必要な慢性疾患の場合、根本治療には、体質改善が有効です。

そこで注目されるのが、長期間服用しても副作用の少ない漢方薬による、根本的な体質改善です。体質改善のポイントは、おもに冷えと虚弱の改善です。とくに冷えや虚弱が目立つ昨今の子どもの体質改善には、長期的に体をあたためる小建中湯(ショウケンチュウトウ)や補中益気湯(ホチュウエッキトウ)、十全大補湯(ジュウゼンタイホトウ)などが使われます。これによって、アトピー性皮膚炎や喘息などの症状が改善されるケースが少なくありません。

また、漢方薬を気長に続けることはもちろんですが、食生活の改善も重要です。ジュースなどの冷たいものや、体を冷やす果物、生野菜、甘いものなどを控えて、あたたかい味噌汁と米を中心に、肉や卵、豆腐などのタンパクを摂り、脂肪が少なくおなかに優しい食事にすることが大切です。

ふれあい曾山医院

淡路市志筑1391-9 電話 62-5566

発行人:曾山 信彦

2009年7月号(第61号)

編集委員会
岡崎 博子 谷岡 尚子
福井 真巳 赤松 陽子
西岡 博子 棟近 成氏